



# 管路気圧試験器取扱説明書

本器を十分に活用していただく為に、次の使用方法及び取扱注意事項をご理解の上、ご使用いただきます様お願い致します。

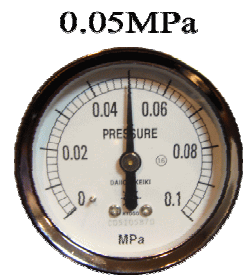
## 使用方法

1. 気圧試験器各部の名称。(右図参照)
2. 取扱い概要(裏面参照)の様に、試験管路の片方にはB型ストッパー(盲栓)を取付け、もう一方にA型ストッパー(エア供給栓)を取付けて下さい。※
3. エアコンプレッサーに親ホースを接続し、その口金を気圧試験器の入口カプラ①(右側)に接続して下さい。気圧試験器出口カプラ③とA型ストッパーを計器ホースで接続。
4. 以上の準備完了後、管路気密試験を開始して下さい。
5. コンプレッサーより気圧試験器にエアーを圧送。入口バルブ②を開き、次に出口バルブ④を開けると試験管路内にエアーが圧送されます。(減圧弁は0.08MPaにセットされています)減圧弁は動かさないで下さい
6. 管路内エアーの圧力が、規定の測定値(0.05MPa以上)になったら、入口バルブ②を閉じ、次に出口バルブ④を閉じて下さい。次に、エアー抜き栓⑥を徐々に緩め、圧力計⑦の針が規定値(0.05MPa)になるまでエアーを抜いて調整して下さい。規定値(0.05MPa)になったらエアー抜き栓⑥を確実に閉めて下さい。※締め方が緩いと漏れの原因になります
7. 以上で操作は完了です。所定の時間経過後、圧力計⑦を確認し、管路内の気密試験をして下さい。  
指針が真上で0.05Mpaです。直射日光の当たる場所や温度変化の激しい場所での試験では、正確な結果が得られない場合がございますので十分ご注意ください。
8. 気密試験終了後、管路内のエアー抜きは、エアー抜き栓⑥を緩めるか、計器ホースを出口カプラ③から外して下さい。



## ※ 取扱注意事項 ※

1. 加圧作業中は、絶対にマンホール内に入らない。
2. ストッパーの取付の際、取付部の汚水・水滴等の付着物を拭取り管路内の圧力に十分耐えられるように締付ける。
3. 通線体(ラコーダー)が、管路途中で停止した場合は、コンプレッサーを止め地上でホースをはずし圧力0を確認すること。
4. レギュレーターを使用し固定して使用下さい。レギュレーターの調圧はしないで下さい。
5. 寒暖の差が激しい時期は、温度変化による誤差がありますのでご注意ください。
6. やむえずマンホール内に入る際は、必ず地上でホースをはずし圧力0を確認して下さい。



<http://www.idutuya.co.jp> [info@idutuya.co.jp](mailto:info@idutuya.co.jp)

★ 本仕様の内容は、改良のため予告なく変更されることがあります。